System Advantages for You

BOM for Windows Ver.8.0
製品機能紹介資料

対応OS追加版

2022年8月

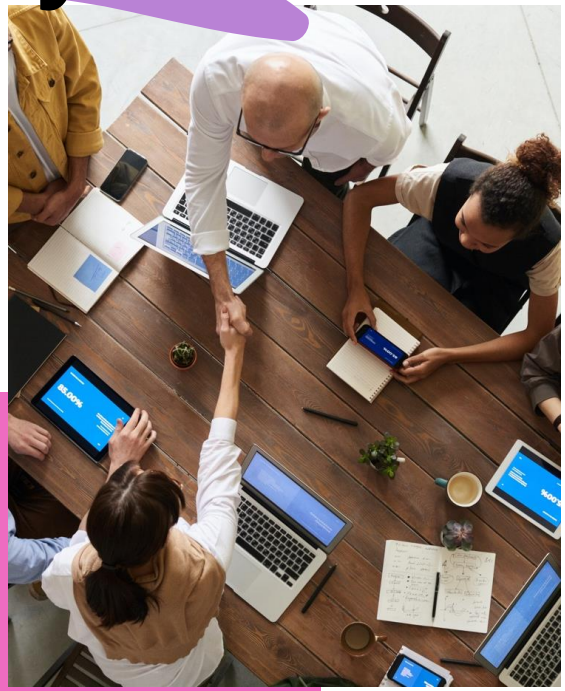
セイ・テクノロジーズ株式会社

会社概要

システム管理者やパートナーに利便性のある製品を市場に提供するための
メッセージ「System Advantages for You」を企業ミッションとしております。

会社名	セイ・テクノロジーズ株式会社
本社所在地	〒112-0005 東京都文京区水道1丁目12-15 白鳥橋三笠ビル8階
資本金 / 設立	9,000万円 / 2001年3月
主要役員	代表取締役社長 三瓶 千里
事業内容	サーバーシステムの運用管理ソリューションの提供 ・自立分散型サーバー監視ソフト『BOM for Windows』の開発・販売 ・高機能ジョブスケジューラー『Job Director』の開発・販売 ・サーバー設定仕様書自動生成サービス『SSD-assistance』の開発・販売 ・クラウドストレージ活用ツール『CSDMT』の開発・販売 ・その他、運用管理に関するコンサルティング・技術支援・開発

System Advantages for You



SIer支援宣言

システム構築・運用における特定分野の付加価値に
注力することで、SIerの一部署、一担当を目指します。

保守運用サービスの提供に必要なツールを自社開発するリソースやコストを確保できない企業に対し、低コスト、ノンカスタマイズで導入可能な製品の開発や導入支援を提供。
サービスの企画から社内交渉、サービスメニュー立案、ツール開発/構築、社内トレーニング、全社への展開、サービス提供に必要な技術的サポートなど一連の業務を支援。
SIerにおける保守運用サービスの利益最大化に貢献します。

セイ・テクノロジーズは、保守運用サービスに関わるSIerの企画担当者やエンジニアの相棒を目指します。

Agenda

01 **限られたリソースで最適なサービスを提供する仕組み作り**
B保守サービス事業者のシステム運用ビジネス拡大を支援

02 **BOM for Windows とは**
今までのBOMの歩みと4つの特長をご紹介

03 **機能紹介**
4つの機能で構成されるBOMの基本機能をご紹介

04 **オプション製品**
BOMの機能を拡張させるオプションをご紹介

05 **導入について**
導入目的や予算などにあわせて、2つのライセンス体系から選択可能

06 **活用例**
他製品との連携や利用シーンにおけるBOMの活用例の一部をご紹介

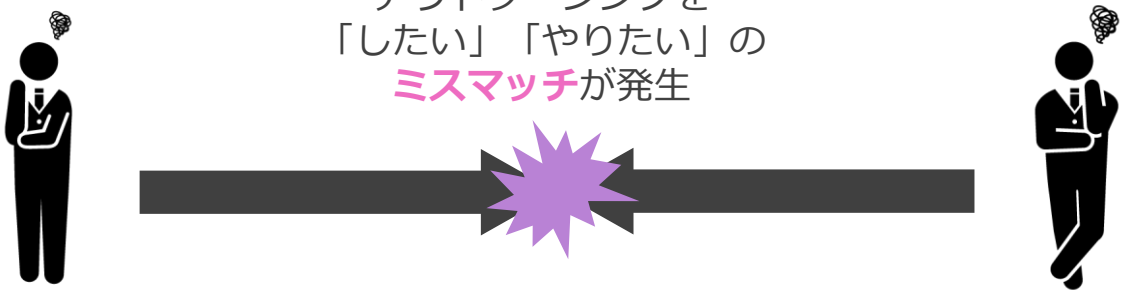
01.
限られたリソースで最適な
サービスを提供する仕組み作り

自立分散型サーバー監視ソフト
BOM
for Windows
Version 8.0

アウトソーシングにまつわるミスマッチ

ユーザー企業の情シス担当者

保守サービス事業者の
企画 / サービス部門責任者



DX推進に注力するため
システム運用をアウトソーシングしたい

- コロナ禍を機にIT投資は増額しているが、システム運用における維持費は削減傾向。
- 予算がなく「1人情シス」でなんとかしている。
- 内製しているシステム運用に掛かりっきり。

サービス売上拡大のために
システム運用のアウトソーシングを受託したい

- ユーザー企業の予算上、専任の担当者を確保できない。
- 案件ごとに運用サービスの内容やツールがバラバラのためノウハウやナレッジが蓄積されない。
- 運用サービス部門が属人化しており、案件を増やせない。

保守サービス事業者が、限られたリソースで
最適なサービスを提供できる仕組み作りが重要

小規模な案件でも最適なサービスを提供

ユーザー企業の情シス担当者

保守サービス事業者 × セイ・テクノロジーズ

DX推進の業務に注力

- 少ない予算でもアウトソーシング可能。

サービス売上拡大を実現

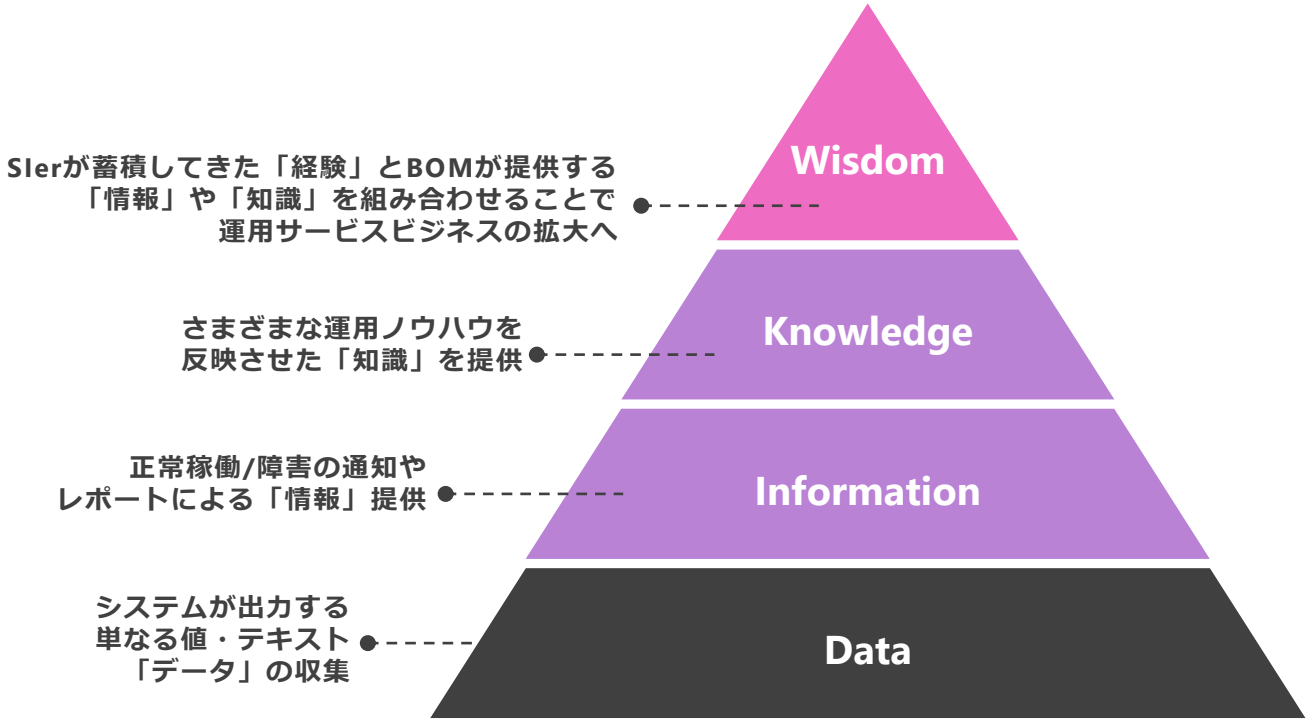
- サービスの内容やツールを標準化することでノウハウやナレッジが蓄積される。
- 学習コストが少ないため、ツールに対する属人化防止。
- 属人化しない仕組みを導入することで案件数を増やせる。

高品質なシステム運用ビジネスの拡大を支援

システム運用サービスに必要な“情報”と“知識”

自立分散型サーバー監視ソフト
BOM for Windows
Version 8.0

Buddy
of
Monitoring



“情報”と“知識”を提供する機能

圧倒的な水平展開のしやすさと高品質なサーバー運用を両立

運用テンプレート

テクニカルライター山市良氏のノウハウなどを反映した運用テンプレートを無償で提供。すぐに高品質な運用サービスを提供可能。

水平展開しやすい専用インストーラ

ワンクリックですべての設定をインストールできる専用インストーラを作成可能。属人化やエンジニアによる設定のばらつきが発生しやすいインストール作業の簡素化かつ標準化を実現。

レポートによる顧客満足度の向上

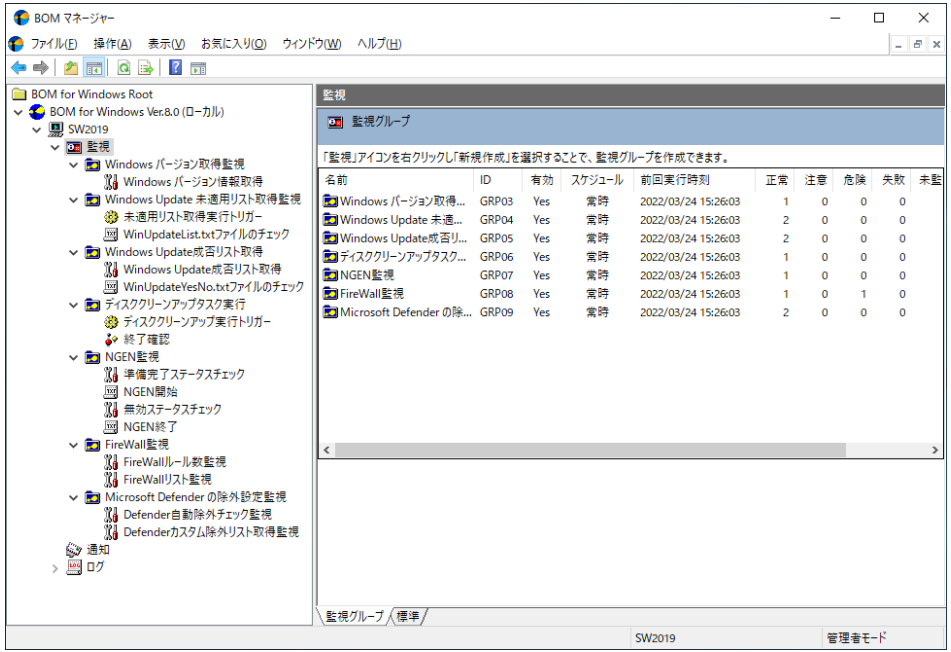
サーバーの使用状況に応じたレポートを作成。定期的に提出することで、顧客満足度の向上やレポートに基づく商談の創出に貢献。

正常稼働確認

システム運用において重要な正常稼働確認。BOMは朝一番のシステムチェックを代行する「朝監視」やバックアップなどアプリケーションの正常稼働確認を実現可能。

ノウハウを反映させた運用テンプレート

山市良氏の『Windowsの運用管理を快適にする10の裏ワザ/表ワザ』やパートナーへの運用支援で培ったKnow-howをもとに監視テンプレートを作成

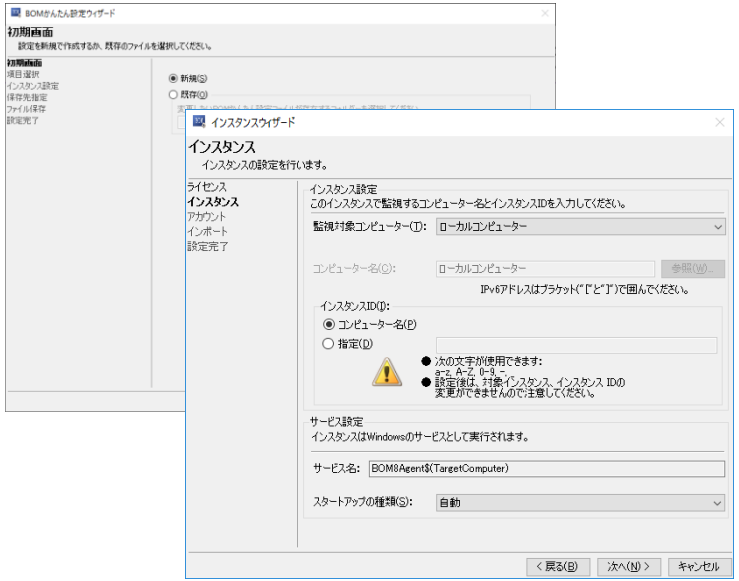


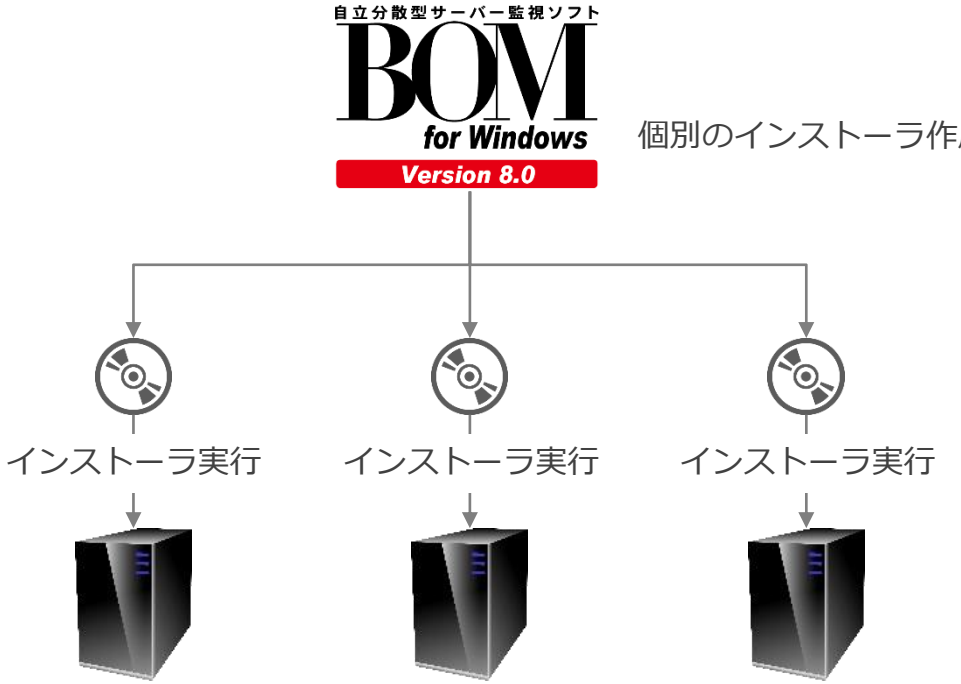
BOM for Windows Ver.8.0に同梱されています

水平展開しやすい専用インストーラで標準化

あらかじめ設定した内容のインストーラを作成
対象のサーバー上でインストーラを実行するだけで、インストールから設定、ライセンス認証まで完了

かんたん設定ツール画面

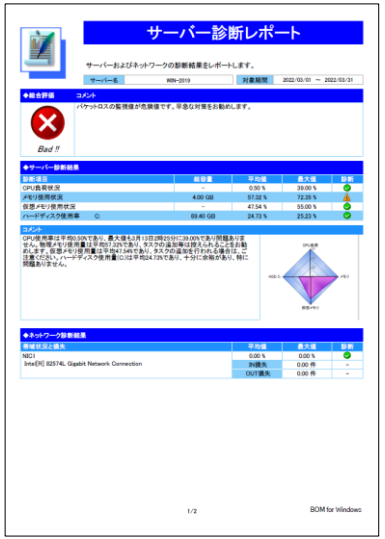




顧客満足度の向上や商談の創出に貢献

サーバーの使用状況に応じたグラフィカルなレポートを作成
レポート自動出力ツールを利用することで任意のフォルダーに生成可能

サーバー診断レポート



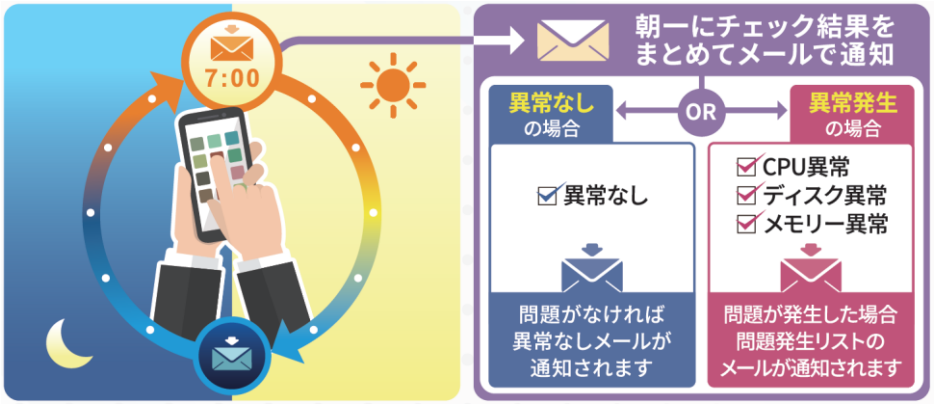
過去比較情報

サーバーの使用状況に応じて、分析結果のコメントまで自動生成。レポート作成の工数がかからず、そのままお客様に提出可能。

レポート機能の詳細は、P29.アーカイブ-レポート出力をあわせてご確認ください。
レポート内に提出先のお客様名を自動追加する専用ツールのご用意もあります。詳細はお問い合わせフォームよりご連絡ください。

システムの正常稼働確認

システム運用においては、正常に稼働しているか確認することも重要
BOMは朝一番のシステムチェックを代行する「朝監視」やアプリケーションの正常稼働を実現



「障害検知」では正しい操作による
バックアップ失敗を検知できない

02.
BOM for Windowsとは

自立分散型サーバー監視ソフト
BOM for Windows
Version 8.0

監視ソフトウェア「BOM」の歩み

仮想化環境における監視を実現

UIの見直しにより使いやすくミスの少ない操作性を実現

2007

2013

監視対象の拡張と連携強化

アプリケーションやデータベース等の監視を強化
他の監視ツールとの連携によりシステム全体を監視可能

システムの正常稼働確認を支援

朝一番のシステムチェックを代行する「朝監視」を実装

2017

2021

「何を監視すべきかわからない」を解決

監視テンプレートの自動検出機能を実装

2022

限られたリソースで最適なシステム運用サービスを実現

システム運用サービスに必要な“情報”と“知識”を製品化

ＢＯＭの特長

GUIで属人化排除

監視に求められる設定をGUIのみで完結できるため
システム管理者のスキルレベルに依存せず、構築～運用可能。

低コストで学習可能(ハンズオントレーニングは半日)なため、属人化を防止。

最短10分で監視スタート

ウィザード形式のインストーラと豊富な監視テンプレートをご用意。

テンプレート自動検出機能により「そもそも何を監視すべきか？」といった悩みを解決。
システム運用の要件定義や設計などの工数を削減可能。

柔軟性と拡張性

監視対象に直接インスールする「自立分散」とインストール不要な
「代理監視(エージェントレス監視)」を予算や要件にあわせて選択。

自立分散はマネージャーサーバーなどが不要なため、監視対象が増えても
サーバーにインストールするだけで運用開始。

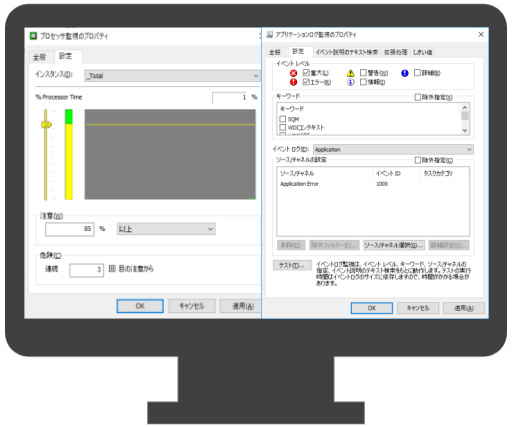
純国産 / 国内サポート

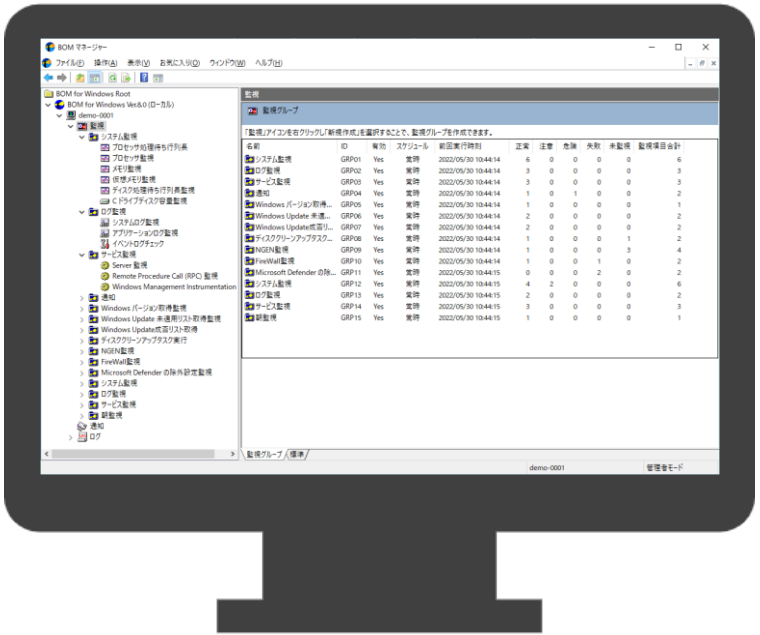
日本国内で開発/サポート。販売開始から20年以上/累計50,000ライセンス以上の実績。

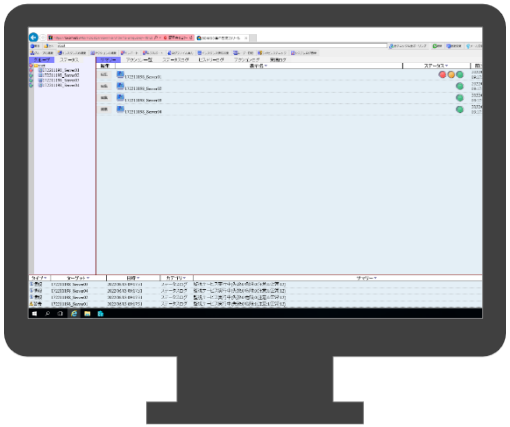
サポートは年間保守不要のインシデント制を採用。
必要な時に必要な分だけ購入するだけのため、保守コストの最適化を実現。

こだわり抜いたGUIで属人化排除

GUIのみで完結でき、システム管理者のスキルレベルに依存しないため、属人化を排除

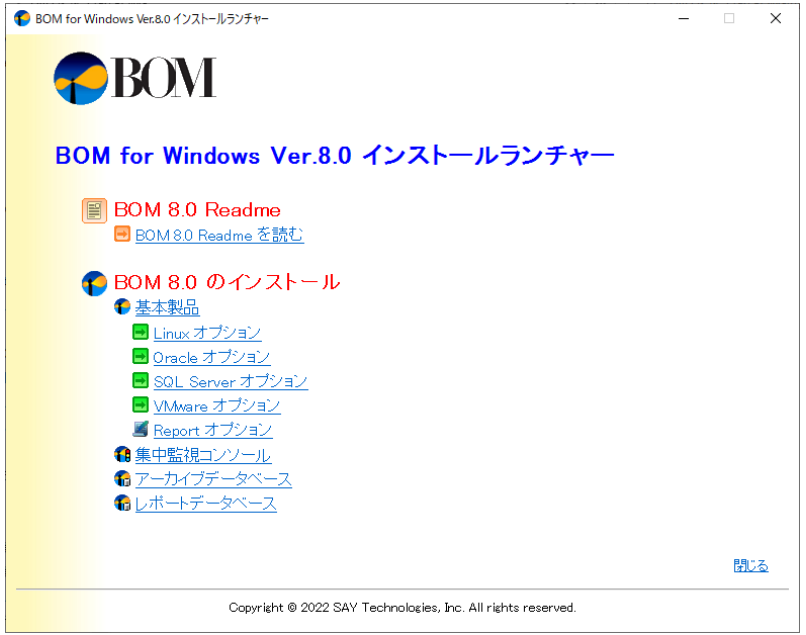




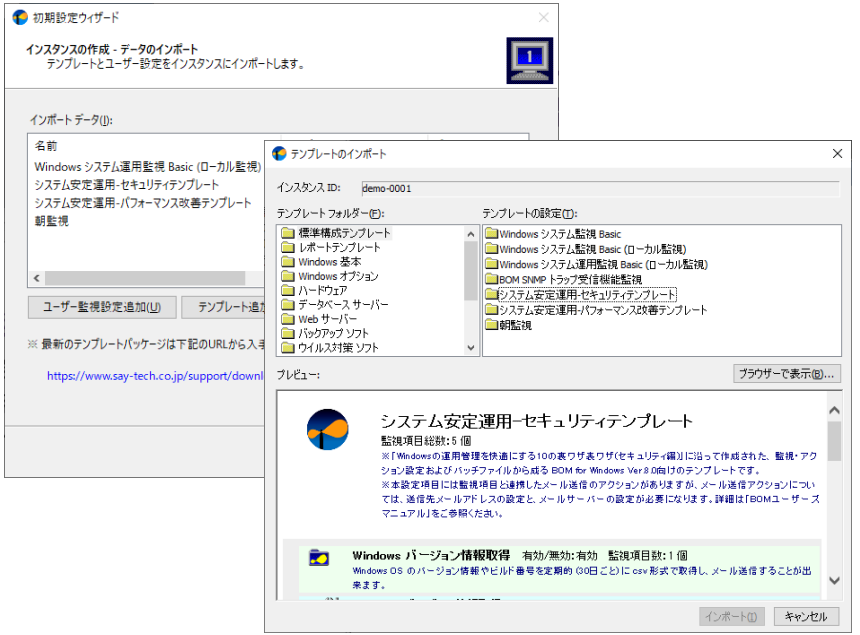


クリックのみ！最短10分で監視スタート

ウィザード形式のインストーラと豊富に用意された監視テンプレートを利用することで最短10分で監視をスタート



利用したい機能を選択してクリックしていくのみ



テンプレート自動検出機能により
「そもそも何を監視すべきか？」といった悩みも解決

柔軟性と拡張性 - 自立分散と代理監視

自立分散

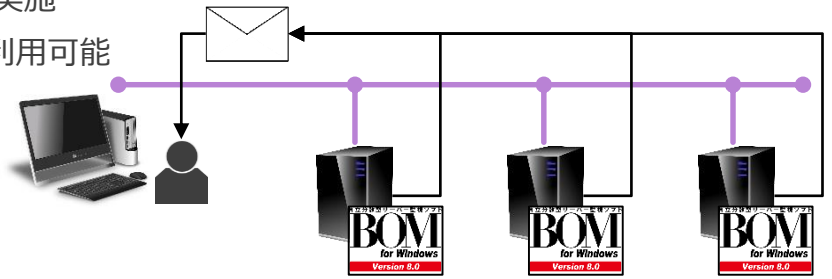
監視対象サーバーにBOMを直接導入、自己の体調管理(監視)を実施

監視専用機器、データベースは不要でサーバー1台の監視から利用可能

※分散したBOMの管理画面は、１ヶ所に統合することが可能

-- 右図の必要ライセンス数 --
- 自立分散監視 3ライセンス

合計３ライセンス



代理監視(エージェントレス監視)

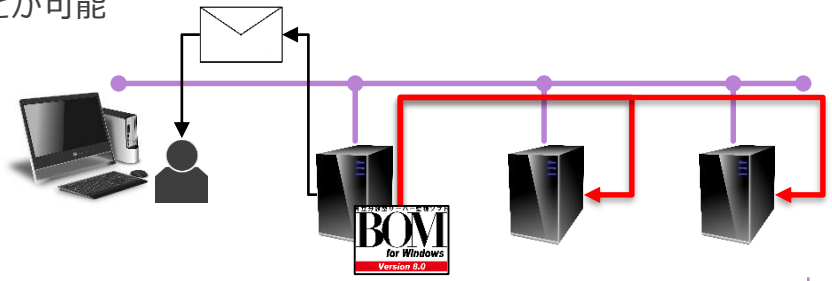
監視対象サーバーにBOMを導入することなく、監視を行うことが可能

自立分散型と機能に差異はなく、1台 対 N台の監視構成が可能

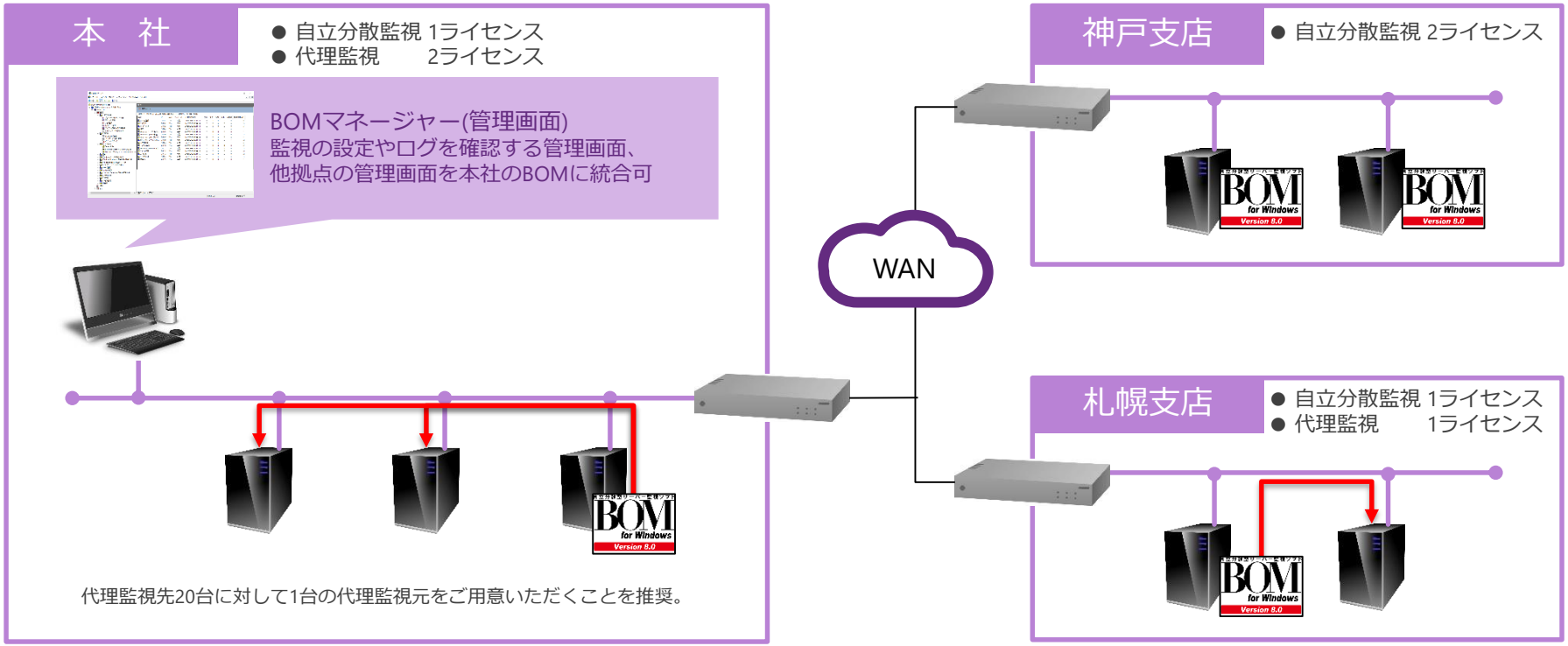
※BOMの管理画面は監視元サーバーのみに存在

-- 右図の必要ライセンス数 --
- 自立分散監視 1ライセンス
- 代理監視　　2ライセンス

合計3ライセンス

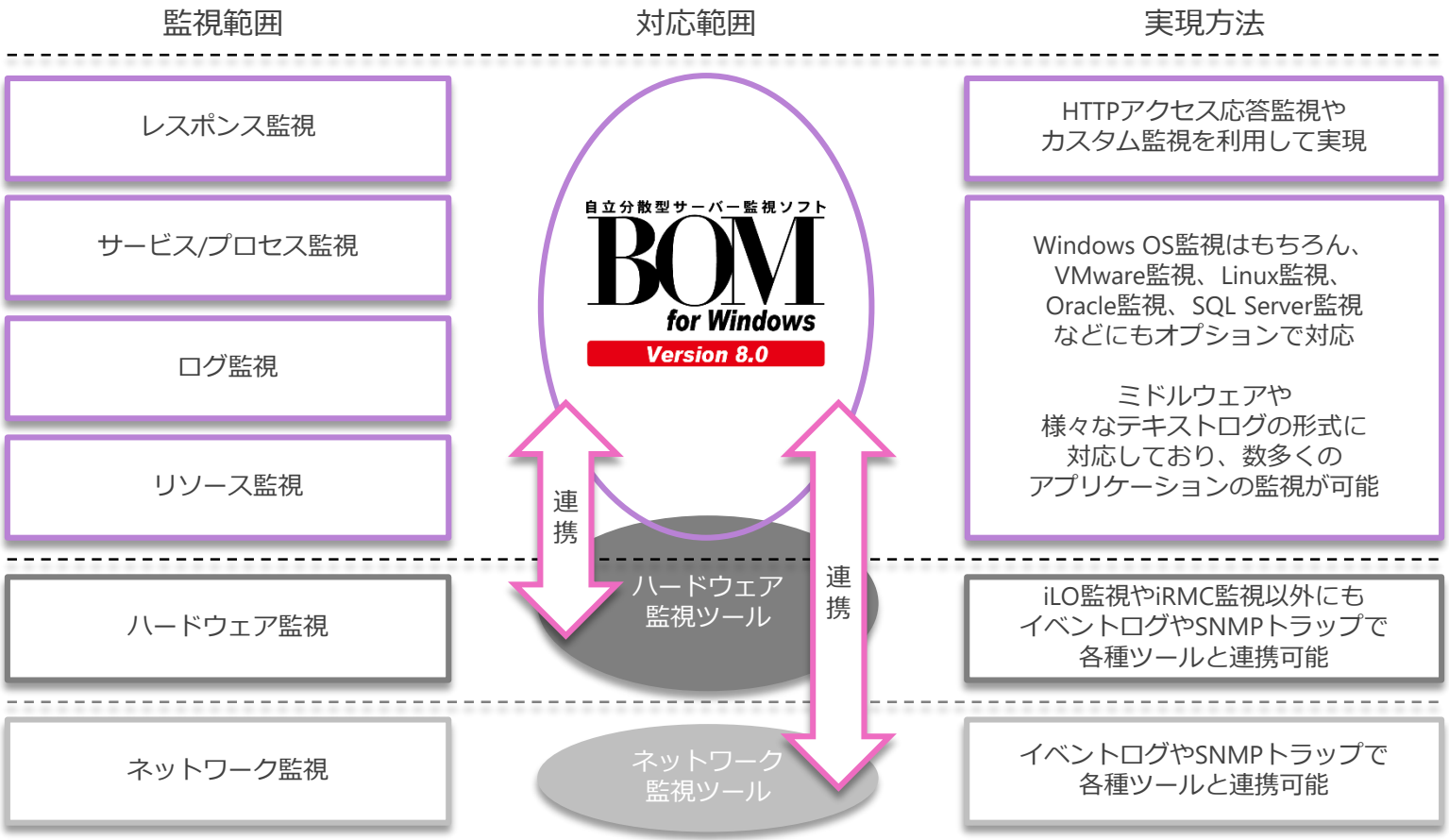


柔軟性と拡張性 - ネットワーク構成例



(**黒 線**)　拠点間の通信は、20080番ポート使用。
(**赤 線**)　監視元サーバーと監視先サーバーの通信は、445番ポートと右記のTCP動的を使用。・リモートサービス管理(RPC-EPMAP)・リモートイベントのログ管理(RPC)
※代理監視に関する参考情報：https://faq.say-tech.co.jp/bom-for-windows-ver-7-0/p559

幅広い監視範囲



03.
機能紹介

自立分散型サーバー監視ソフト
BOM for Windows
Version 8.0

BOMの機能構成

BOMは多彩なの機能のトリガーとなる「監視」を中心に4つの機能で構成されています。

監視

ハードウェアからネットワーク、OS、アプリケーション、レスポンスまで幅広く監視

通知

メール通知はもちろんのこと
SNMPトラップ送信や警告灯の点灯など多彩な通知が可能

リカバリー

サービスコントロールや
シャットダウン等だけでなく
監視の有効/無効も制御

アーカイブ

監視結果だけでなく
BOMが実行した通知やリカバリーのログも蓄積可能

監視 - 主な監視機能

リソース監視：9種類	
ディスク容量監視	論理ディスクの空き容量を監視
フォルダー・ファイル監視	フォルダーやファイルの容量や数量を監視
プロセッサ監視	プロセッサ(CPU)の使用率を監視
メモリ監視	メモリの空き容量を監視
ディスク処理待ち行列長監視	全物理ディスクに対する負荷状況を監視
ネットワークインターフェイス監視	物理ネットワークインターフェイスの帯域使用率を監視
ネットワークアダプター監視	チーミングNICを含む、ネットワークアダプターの帯域使用率を監視
プロセス監視	プロセスの各種パフォーマンスを監視
パフォーマンスカウンター監視	パフォーマンスカウンターの値を監視

リモート監視：2種類	
Ping監視	Ping(ICMP ECHO)疎通監視
ポート監視	TCP/UDPポート疎通監視

稼働監視：2種類	
サービス監視	サービスの状態(開始/停止)を監視
プロセスリスト監視	プロセス一覧を取得し、稼働状況を監視

ログ監視：3種類	
イベントログ監視	イベントログを監視(除外指定/選択指定が可)
テキストログ監視	任意のテキストログファイルを監視視
BOMヒストリー監視	BOMのヒストリーログを監視

その他監視：14種類	
インストールソフトウェア変更監視	Windows Update監視
AWS S3ストレージ容量監視	iLOログ監視
iRMCログ監視	HTTPアクセス応答監視
SNMP Get 監視	重複ファイル監視
未アクセスファイル監視	カスタム監視
RDSセッション監視 (セッション数取得)	RDSプロセス監視 (セッション数取得)
RDSセッション監視 (ユーザー/クライアントリスト取得)	RDSプロセス監視 (ユーザー/クライアント/セッションリスト取得)

その他にもOracle Database / SQL Serverといったデーターベースや VMware / Hyper-Vといったハイパーバイザー、 Linux OSの監視も可能。(一部オプション製品)

監視 - 監視テンプレート

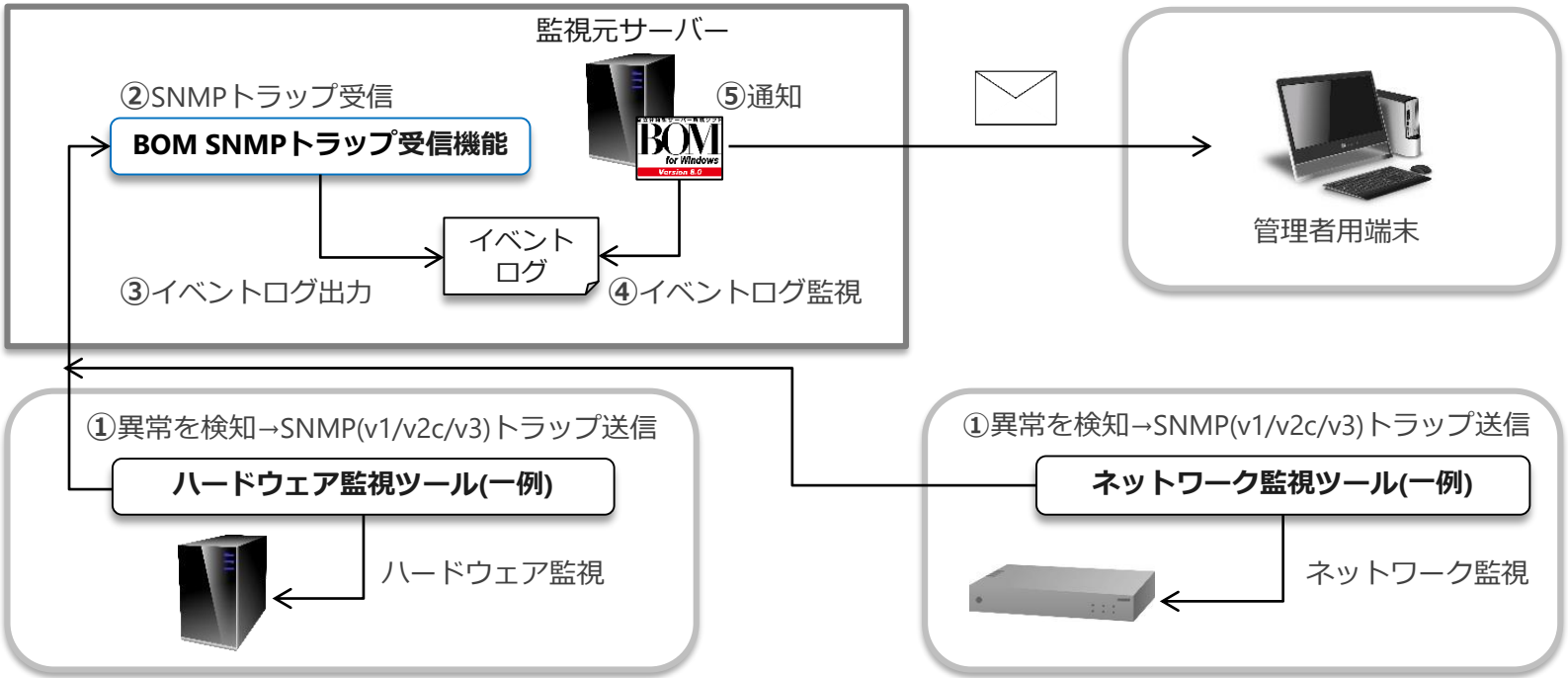
「監視テンプレート」 を無償公開。
テンプレート自動検出機能により「そもそも何を監視すべきか？」といった悩みも解決。

監視テンプレート (抜粋)			
標準	Windows システム運用監視 Windows システム監視 Linux システム監視	システム安定運用 - セキュリティテンプレート システム安定運用 - パフォーマンス改善テンプレート 朝監視	
ログ	アプリケーションイベントログ システムイベントログ	Windows レポート向け監視項目 Linux レポート向け監視項目	セキュリティログ Linux テキストログ監視
ソフトウェア	ActiveImage Protector Arcserve Backup Exec Veritas System Recovery Windows Server Backup	Active Directory DNS Server DHCP Server MSFC Windows Server SQL Server	ESET Trend Micro Windows Defender Linux Apache Linux Samba
ハードウェア	NEC ESMPRO ServerManager NEC ESMPRO ServerAgent	JP1 Server Conductor Fujitsu ServerView Agents	HP System Management

監視テンプレートは随時追加しています。最新情報はテンプレート一覧をご覧ください。
https://www.say-tech.co.jp/product/bomwin80/temp-list

監視-SNMPトラップ受信機能

ネットワーク機器などから送信される SNMPトラップをBOMで監視可能。
受信したSNMPトラップはMIBでデコードの上、イベントログに出力後、監視。



通知/リカバリー

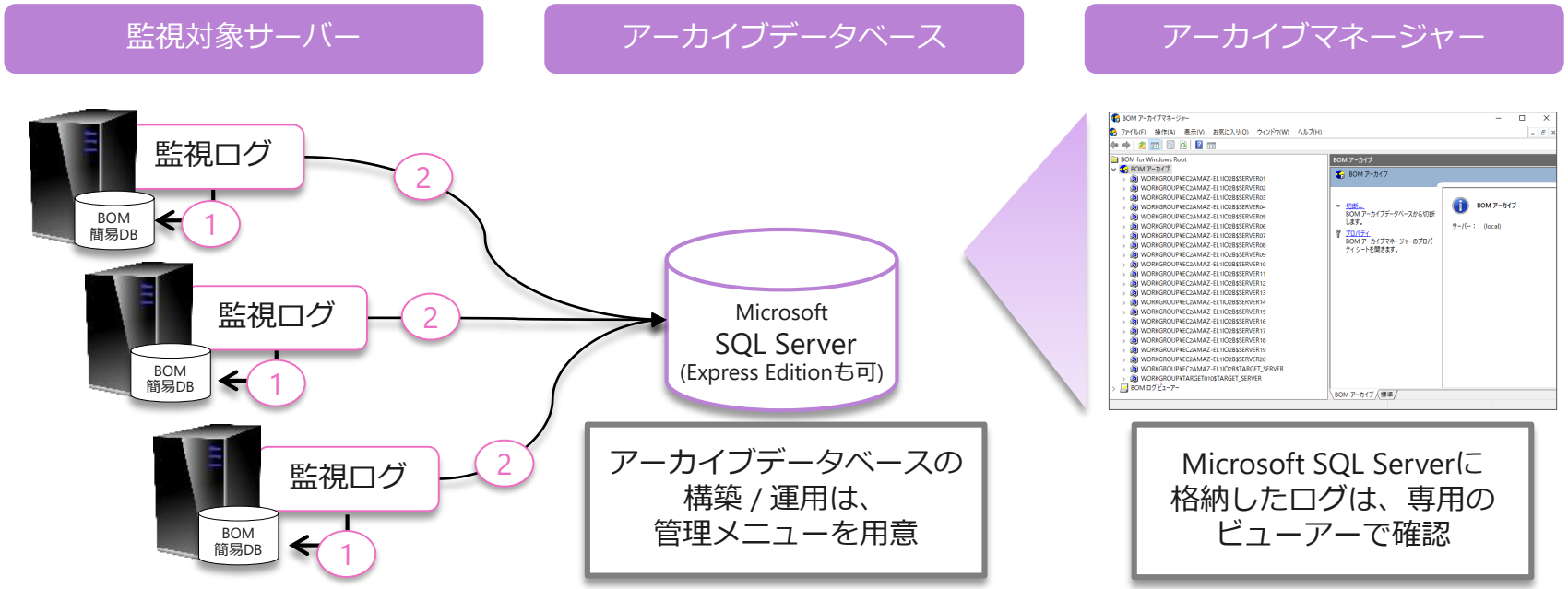
主要な通知項目	
メール送信	SMTP形式のメール通知
SNMPトラップ送信	SNMP(v1/v2c/v3)形式のトラップ送信による通知
イベントログ書き込み	Windowsイベントログへの書き込みによる通知
syslog送信	syslogサーバーへsyslog形式のメッセージを送信
カスタム通知	外部アプリケーションを利用した通知 *パトライト等の警告灯の点灯が可能

主要なリカバリー項目	
サービスコントロール	サービスの開始/停止/再起動を制御
シャットダウン	Windowsのシャットダウン/再起動を制御
監視有効/無効	監視グループ/監視項目の有効化/無効化制御
HTTPS送信	HTTPSプロトコルを使用したファイル/通知の送信
AWS S3ファイル送信	Amazon S3および、Amazon S3互換ストレージへ、任意のファイルを送信
RDSクライアント通知	接続中のクライアントに対して、通知メッセージを送信
RDSセッションログオフ	指定した条件に該当するステータスのセッションを強制的にログオフ
カスタムアクション	外部アプリケーションを利用した制御

その他にもVMwareホスト/ゲストのステータス制御、Linux上でのスクリプト実行/プロセスコントロールなどが可能。(一部オプション製品)

アーカイブ-ログの蓄積

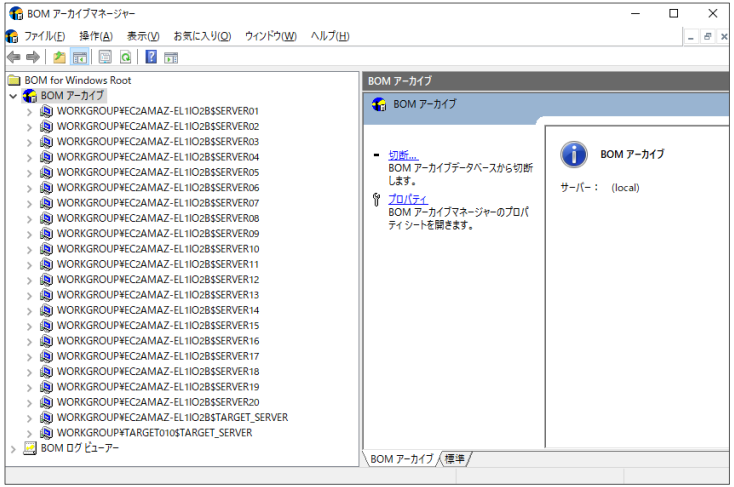
監視項目ごとに15,000レコードまで監視ログをBOMに蓄積可能。
長期保存が必要な場合、Microsoft SQL Serverにアーカイブ可能。

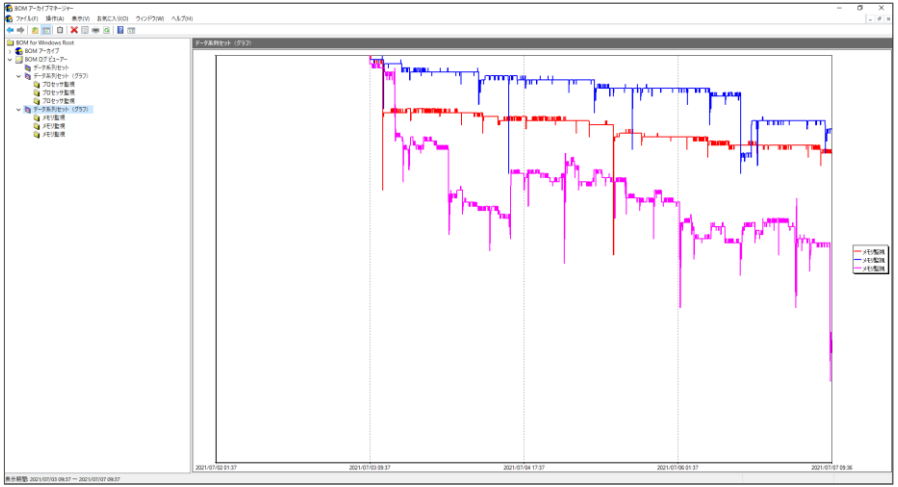


アーカイブ-アーカイブマネージャー

BOM アーカイブマネージャーでは、アーカイブデータベースに蓄積された監視データログを監視項目ごとにリストで表示することや複数の監視項目のデータグラフを重ね合わせて表示可能。

無償版SQL Server Express Edition との組み合わせで監視データを簡単グラフ化





Microsoft SQL Server バージョン情報：「BOMアーカイブデータベース」
https://www.say-tech.co.jp/product/bomwin80/requirements

アーカイブ-レポート出力（オプション製品）

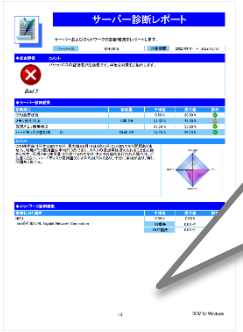
集計・自動分析するレポート出力。保守報告書としての活用可能。
Windowsだけではなく、LinuxやVMwareのレポートシートもご用意。

レポートは21種類レポートシートの中から選択して出力可能

レポートシート一覧		
サーバー診断レポート	プロセス詳細情報	全インスタンス概要
過去比較情報	ディスククォータ情報	ArcserveUDPv6ログリスト
詳細グラフ情報	アプリケーションログ情報	Hyper-V仮想環境レポート
システム基本情報	システムログ情報	VMwareサーバー診断レポート
ハードウェア情報	セキュリティログ情報	VMwareシステム基本情報
ソフトウェア情報	セキュリティログ詳細	VMware詳細グラフ情報
ハードウェア・ソフトウェア差分情報	テキストログ情報	VMwareログ情報

アーカイブ-レポートサンプル（オプション製品）

サーバー診断レポート



【自動分析のコメント例】

CPU使用率は平均84.87%であり、
最大値も8月9日9時31分に99.00%です。
早急な上位機種へアップグレードをお勧めします。

ディスク使用量(C:)は平均3.21%であり、
十分に余裕があり、特に問題ありません。

過去比較情報

【過去比較情報】

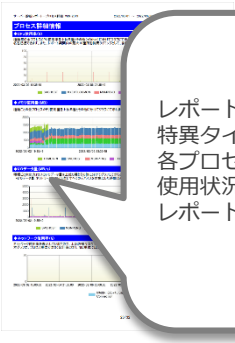
- サーバー診断結果
  CPU負荷、メモリ状況、仮想メモリ状況、
  HDD状況、HDD使用率
- ネットワーク診断結果(NICごと)
  IN使用率、OUT使用率
  IN損失件数、OUT損失件数

ソフトウェア情報

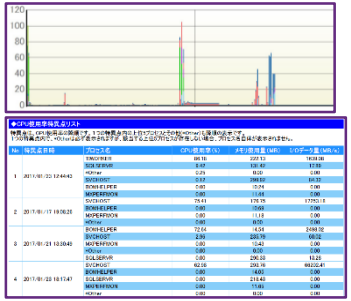
監視対象サーバーのソフトウェアの「追加」・「削除」状況がピックアップされますので、許可されていないアプリケーションのインストール監査や、OSのパッチ適用状況などを把握することができます。

78	プラグ アンド プレイ デバイス	Volume Manager		
79	プラグ アンド プレイ デバイス	WebEx Document Loader (リダイレクト 2) (リダイレクト 2)	Local Print Queue	削除
80	プラグ アンド プレイ デバイス	ボリューム	PVDISK	追加

プロセス詳細情報



レポート出力期間の
特異タイミングを検出、
各プロセスのリソース
使用状況を抽出して
レポートに出力します。



04.
オプション製品

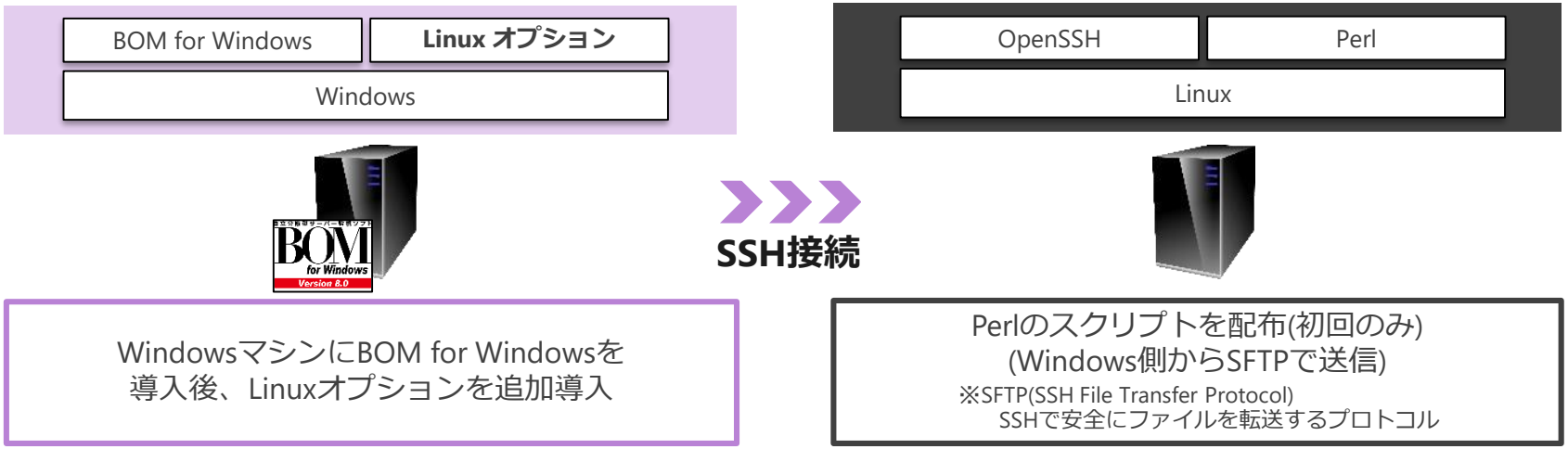
自立分散型サーバー監視ソフト
BOM for Windows
Version 8.0

オプション製品の機能概要

Linux	追加される機能	監視	① ディスク容量監視　② ディレクトリ・ファイル監視　③ サービスポート監視 ④ プロセッサ監視　⑤ メモリ監視　⑥ ディスクアクセス監視　⑦ プロセス監視 ⑧ プロセス数監視　⑨ テキストログ監視　⑩ネットワークインターフェイス監視 ⑪ スクリプト監視
		通知・リカバリー	① SYSLOG書き込み　② プロセスコントロール　③ シャットダウン　④ スクリプト実行
Oracle	追加される機能	監視	① 表領域の使用量・使用率監視　② 同時セッション数監視 ③ 表領域の最大空き容量監視　④ エクステント増分回数監視 ⑤ ストアドファンクションの実行
SQL Server	追加される機能	監視	① データベースの使用量・使用率監視　② 同時セッション数監視 ③ データベースの最大空き容量監視　④ エクステント増分回数監視 ⑤ ストアドファンクションの実行
VMware	追加される機能	監視	① ストレージ空き容量監視　② パフォーマンスカウンター監視　③ ステータス監視 ④ 仮想マシン数監視 ⑤ VMwareイベント監視　⑥ VMwareタスク監視 ⑦ VMwareビューアデータ収集
		リカバリー	① VMwareステータスコントロール (ホスト/ゲスト)
Report	追加される機能	レポート	① サーバー診断レポートや過去比較情報等21種類から選べるレポート出力

構成例 - Linuxオプション

Windowsサーバーに導入したBOMから、SSH経由でLinuxサーバーを監視
WindowsサーバーのBOMからGUIを利用して操作を行うため、Linuxは意識不要

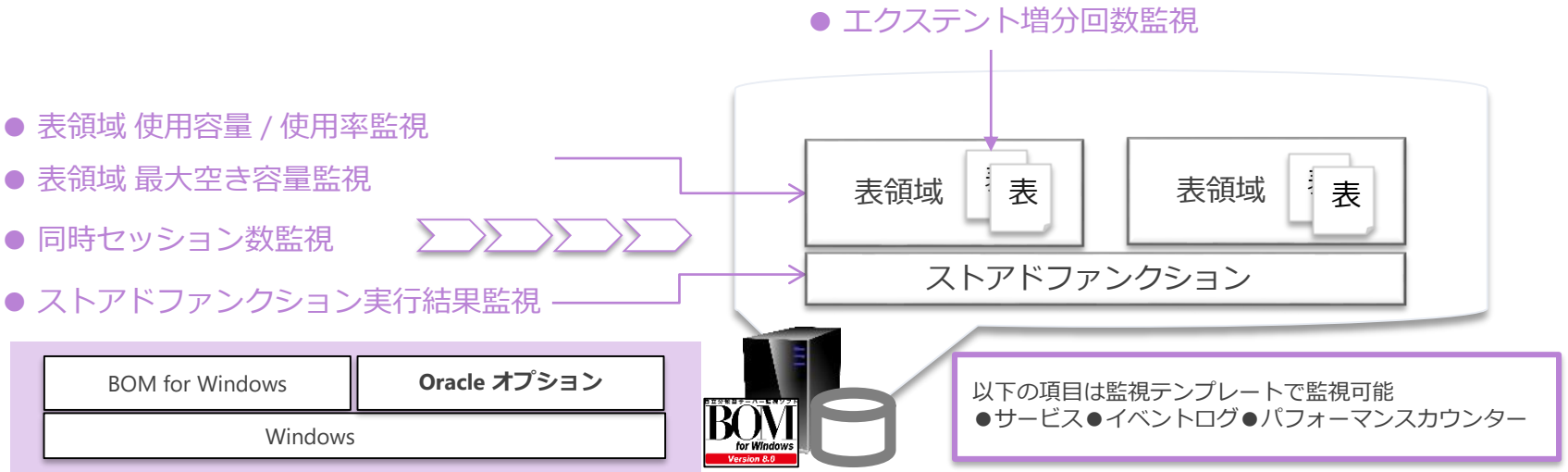


動作環境	Red Hat Enterprise Linux	Ver.7.1以降 / Ver.8.x以降*1 / Ver.9.0
	Ubuntu	18.04 (LTS) / 20.04 (LTS) / 22.04 (LTS)

*1：2022/8/5 現在、8.6まで動作確認済み。

構成例 - Oracleオプション

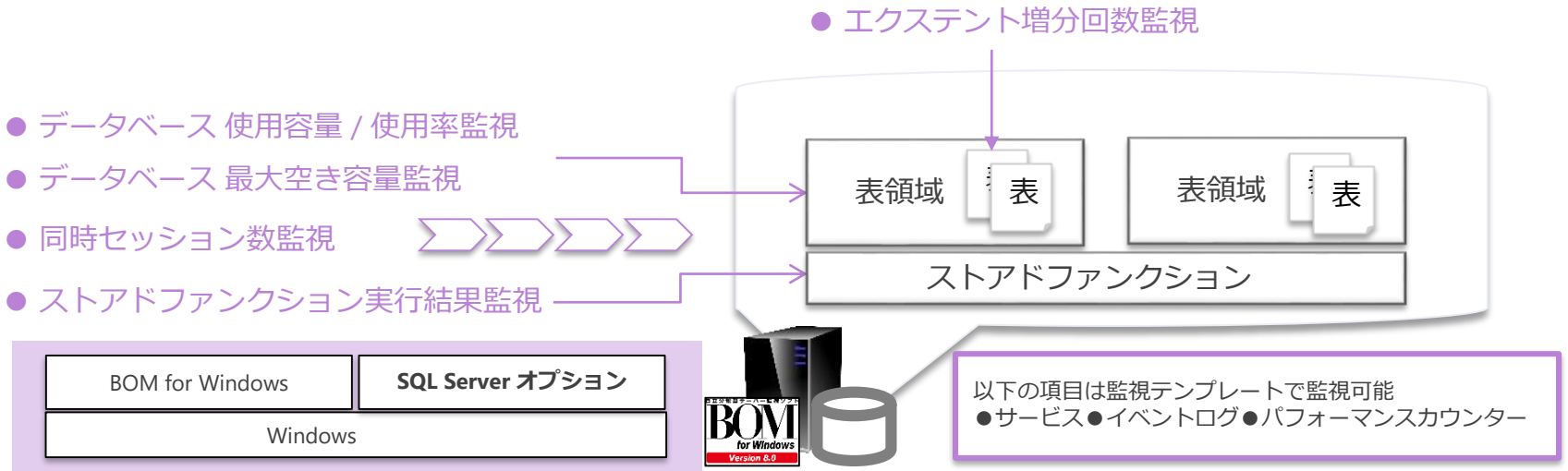
Oracleデータベースサービスに接続してOracle表領域などを監視
Oracleを使用するアプリケーション目線で、Oracleデータベースの監視が可能



動作環境	Oracle Database 21c	Windows x64
	Oracle Database 19c	Windows x64

構成例 - SQL Serverオプション

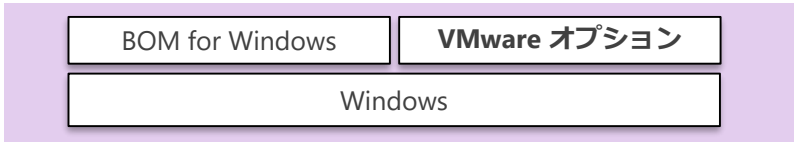
ODBCドライバー経由でSQL Server サービスに接続してデータベースなどを監視
SQL Serverを使用するアプリケーション目線で、SQL Serverの監視が可能

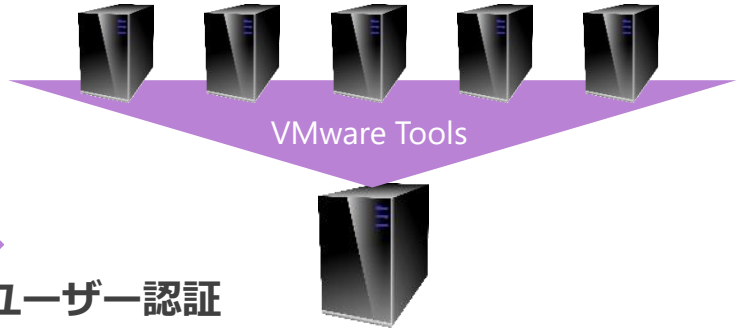


動作環境	SQL Server 2019 各エディション	SPなし
	SQL Server 2017 各エディション	SPなし
	SQL Server 2016 各エディション	Service Pack 3
	SQL Server 2014 各エディション	Service Pack 3

構成例 - VMwareオプション

ESXホスト(一部監視項目はvCenter)に接続して、ホストとゲストを監視
監視結果と連動して、ホストやゲストのステータスを制御可能(パワーオン/パワーオフなど)





ESXホストに対してユーザー認証

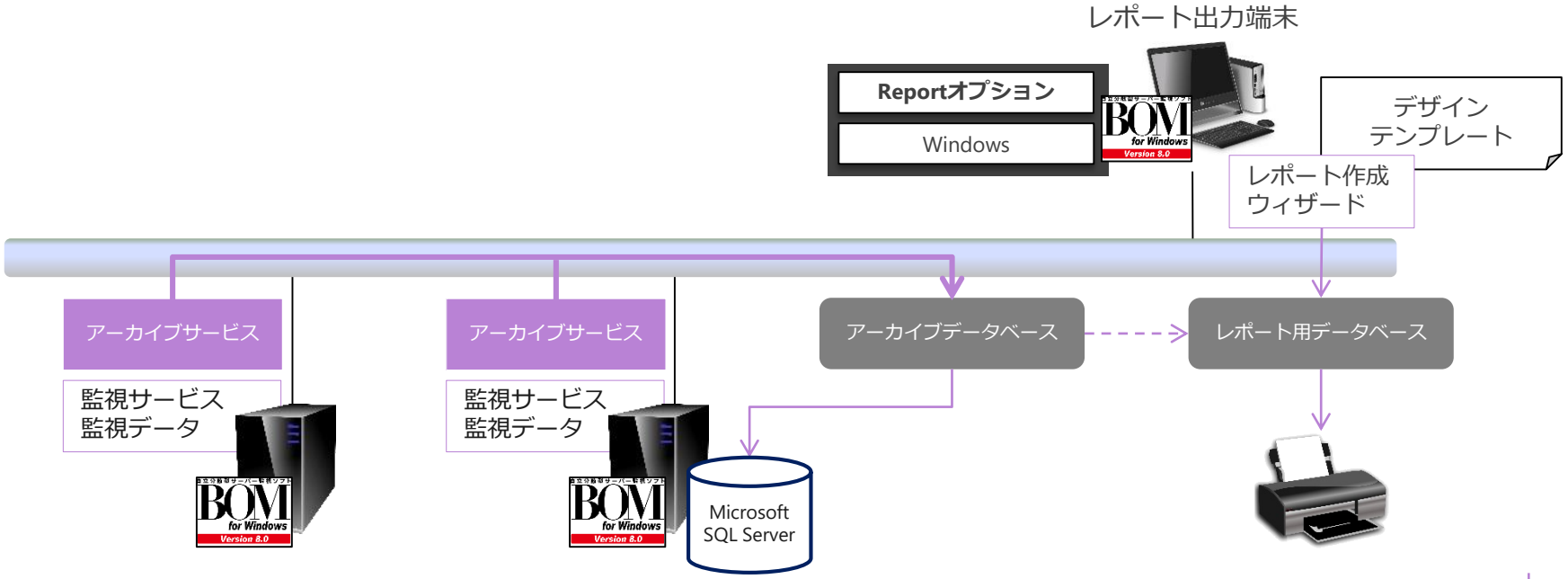
WindowsマシンにBOM for Windowsを
導入後、VMwareオプションを追加導入。

ホストだけでなく、ゲストのリソースも監視可能
(ゲストの情報はVMware Tools経由で取得)

動作環境	VMware ESXi	6.7 / 7.0
	VMware vSphere	6.7 / 7.0

構成例 - Reportオプション

BOMアーカイブデータベースに蓄積した監視ログを集計・分析し、レポート出力可能
レポートはデザインテンプレートの中から選択して出力可能
レポートはExcel形式でも出力できるため、レポートの過不足を修正の上、提出可能



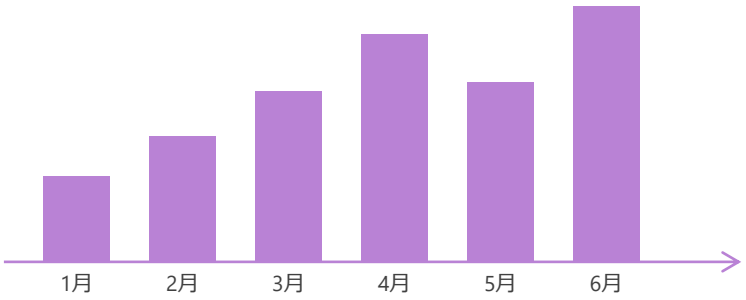
05.
導入について

自立分散型サーバー監視ソフト
BOM for Windows
Version 8.0

2つのライセンス体系

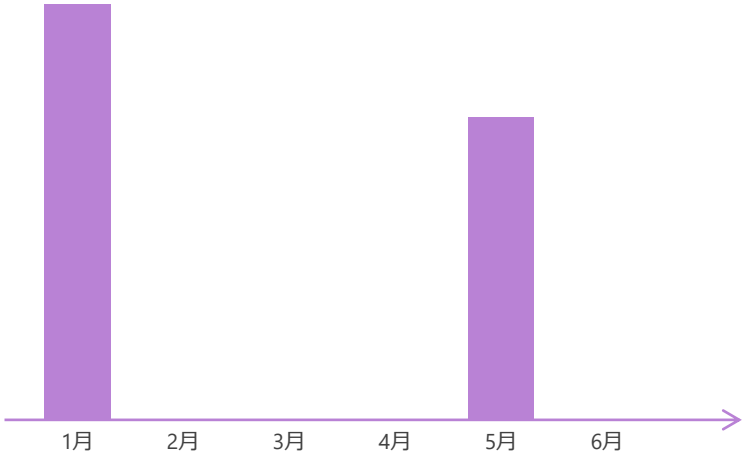
保守サービス事業者がシステム運用サービスを立ち上げやすい「月額ライセンス」と買い切りの「パッケージライセンス」をご用意

ライセンス費用は毎月発生



月額ライセンス

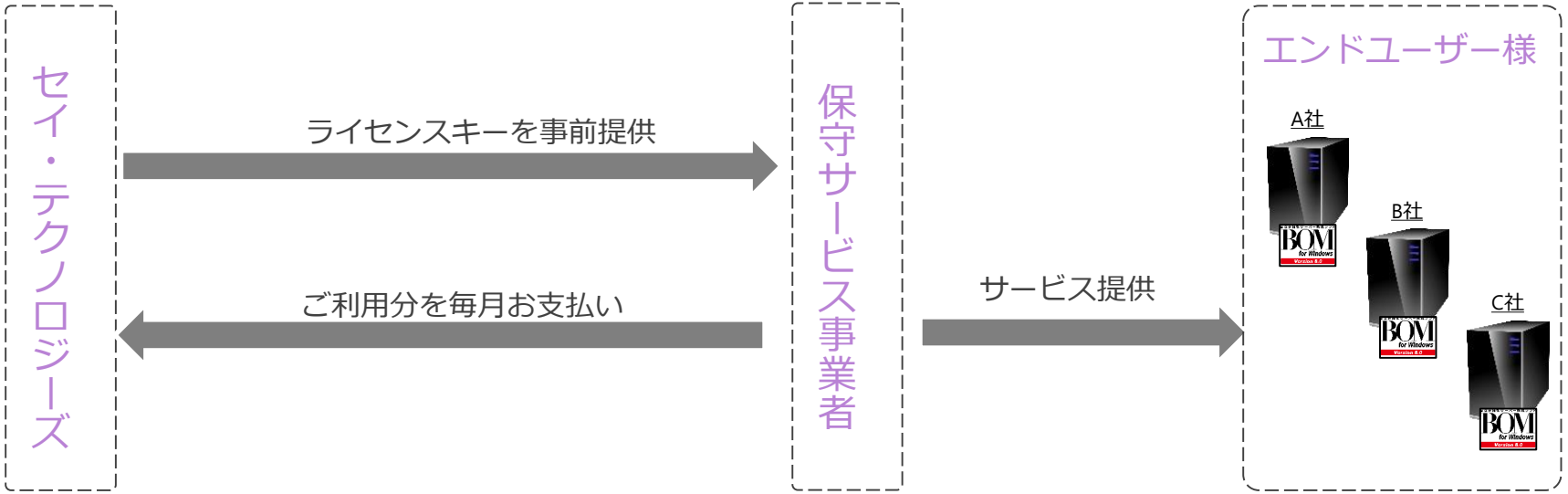
ライセンス費用が発生するのは導入時のみ
年間保守不要のメーカーサポート



パッケージライセンス

月額ライセンス

ライセンスを都度購入する必要がなく、ライセンス費用を毎月のサービス売上から支払えるため、安定的にサービスを提供可能



型番	製品名	標準価格(税抜)
BOM-MA-1L	BOM for Windows 月額ライセンス (※1)	ASK

※1 ライセンス費用にテクニカルサポート費用やバージョンアップライセンス費用が含まれています。

パッケージライセンス：製品価格

型番	JANコード	品名 及び 摘要	標準価格(税抜)
基本パッケージ			
B80-SV-1P	4582102404000	BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ (1ライセンス、5インシデント付)	¥148,000
追加ライセンス			
B80-SV-1L	4582102404017	BOM for Windows Ver.8.0 サーバー追加1ライセンス	¥130,000
B80-SV-10L	4582102404024	BOM for Windows Ver.8.0 サーバー追加10ライセンス	¥900,000
B80-SV-50L	4582102404031	BOM for Windows Ver.8.0 サーバー追加50ライセンス	¥3,750,000
仮想用ゲストOS追加ライセンス			
B80-SV-1VL	4582102404116	BOM for Windows Ver.8.0 ゲストOS用追加1ライセンス	¥70,000
BLI-80-1VL	4582102404123	BOM Linux オプション Ver.8.0 ゲストOS用追加1ライセンス	¥70,000
B80-SV-50VL	4582102404130	BOM Ver.8.0 ゲストOS用追加50ライセンス(Windows/Linux)	¥1,500,000
オプション			
BOR-80-1L	4582102404048	BOM Oracle オプション Ver.8.0	¥118,000
BSQ-80-1L	4582102404109	BOM SQL Server オプション Ver.8.0	¥118,000
BLI-80-1L	4582102404062	BOM Linux オプション Ver.8.0	¥118,000
BVM-80-1L	4582102404093	BOM VMware オプション Ver.8.0	¥118,000
BRP-80-1L	4582102404086	BOM Report オプション Ver.8.0	¥98,000
バージョンアップ			
B80-SV-UP	4582102404147	旧Ver.パッケージからVer.8.0へのバージョンアップ(基本パッケージ)	¥30,000
B80-SV-LUP	4582102404154	旧ライセンスからVer.8.0へのバージョンアップ(1ライセンス)	¥20,000
インシデントサポート			
BOM-SP-5I	4582102390655	BOM 5インシデントサポート(6ヶ月有効)	¥100,000
BOM-SP-10I	4582102390662	BOM 10インシデントサポート(6ヶ月有効)	¥180,000
BOM-SP-20I	4582102390679	BOM 20インシデントサポート(1年間有効)	¥300,000
レポート自動出力ツール			
J15-SV-1P	4582102403522	Job Director R15 基本パッケージ	¥148,000

最新の対応OS等システム要件：https://www.say-tech.co.jp/product/bomwin80/requirements

パッケージライセンス：メーカーサポート

年間保守契約不要の「インシデントサポート制」を採用
修正モジュールや機能拡張モジュールは無償提供

ユーザー登録

Step.1

製品購入後、2周間以内にユーザー登録を実施してください。ユーザーIDを発行します。
https://www.say-tech.co.jp/support/registration

お問い合わせ

Step.2

ユーザーIDと有効なインシデントIDを記載の上、サポート窓口までご連絡ください。
https://www.say-tech.co.jp/support/contact

サポート対応

Step.3

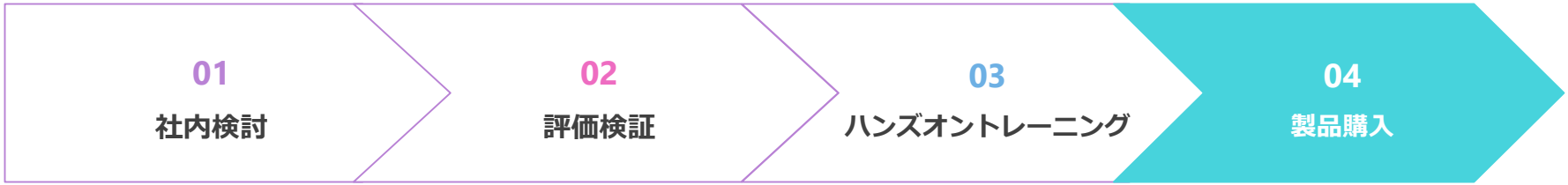
セイ・テクノロジーズ サポート担当者よりご回答いたします。お問い合わせクローズ後にインシデントを消費します。

セイ・テクノロジーズ製品の脆弱性情報の一覧はこちらからご確認できます。

BOM選定までのステップ例

30日間無料で利用可能
https://www2.say-tech.co.jp/bom-eval

販売店様 / セイ・テクノロジーズにお問い合わせください
https://www.say-tech.co.jp/contact



資料をWebよりダウンロード
https://www.say-tech.co.jp/catalog-center?id=bom

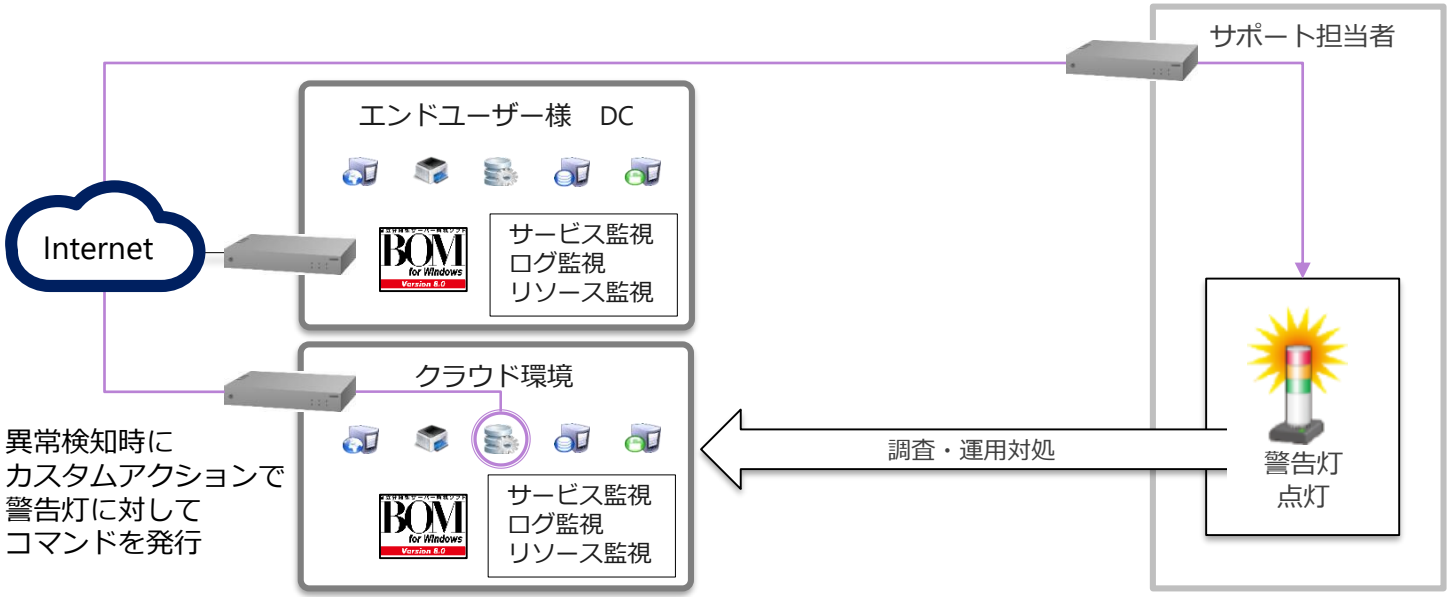
半日で学べる「入門編」を定期開催
https://www2.say-tech.co.jp/bom-hands-on

06.
活用例

自立分散型サーバー監視ソフト
BOM for Windows
Version 8.0

BOMの活用例 - 警告灯連携

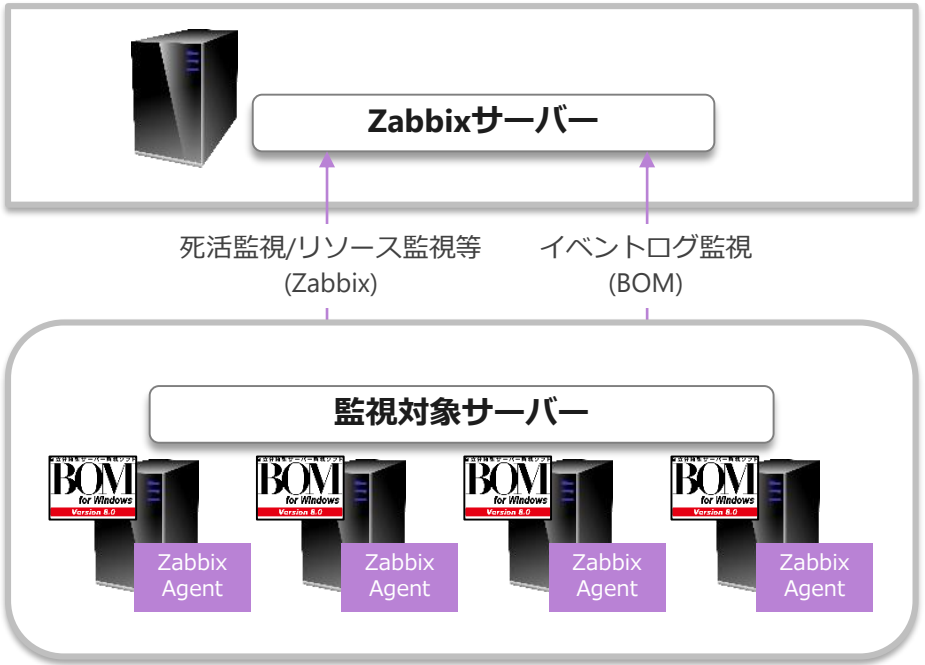
BOMによる異常検知時に、各種警告灯の点滅が可能
警告灯との連携により、障害を可視化

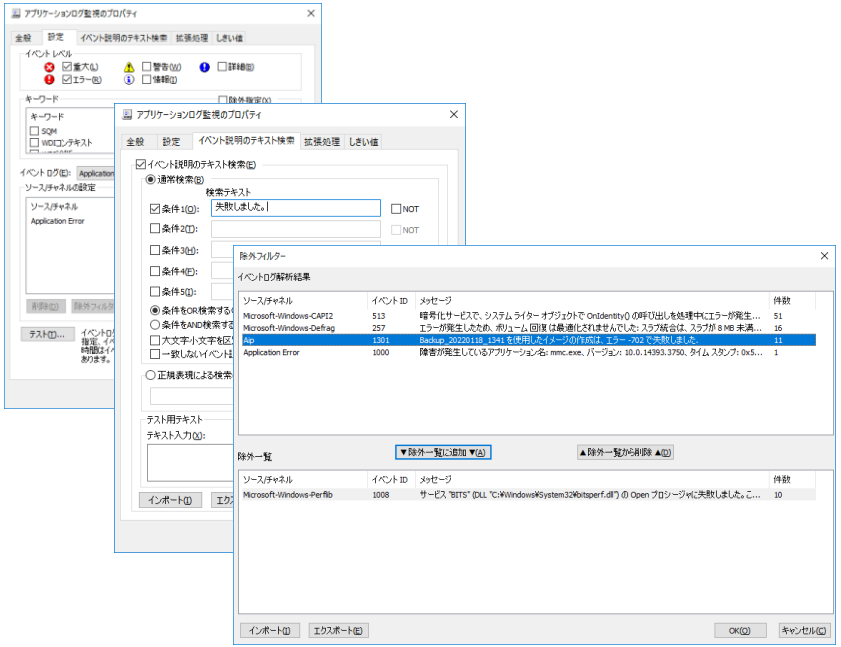


株式会社パトライト社のパトライトとの連携方法 (PRSH)　⇒ https://faq.say-tech.co.jp/bom-for-windows-ver-7-0/p283
株式会社パトライト社のパトライトとの連携方法 (SNMPトラップ)　⇒ https://faq.say-tech.co.jp/bom-for-windows-ver-7-0/p548
株式会社アイエスエイ社の警子ちゃんとの連携方法　⇒ https://faq.say-tech.co.jp/bom-for-windows-ver-6-0/p329

BOMの活用例-Zabbix連携

監視対象と除外対象を正規表現やトリガー条件式で表現しなければならないイベントログ監視をBOMで実行し、Zabbixに連携可能



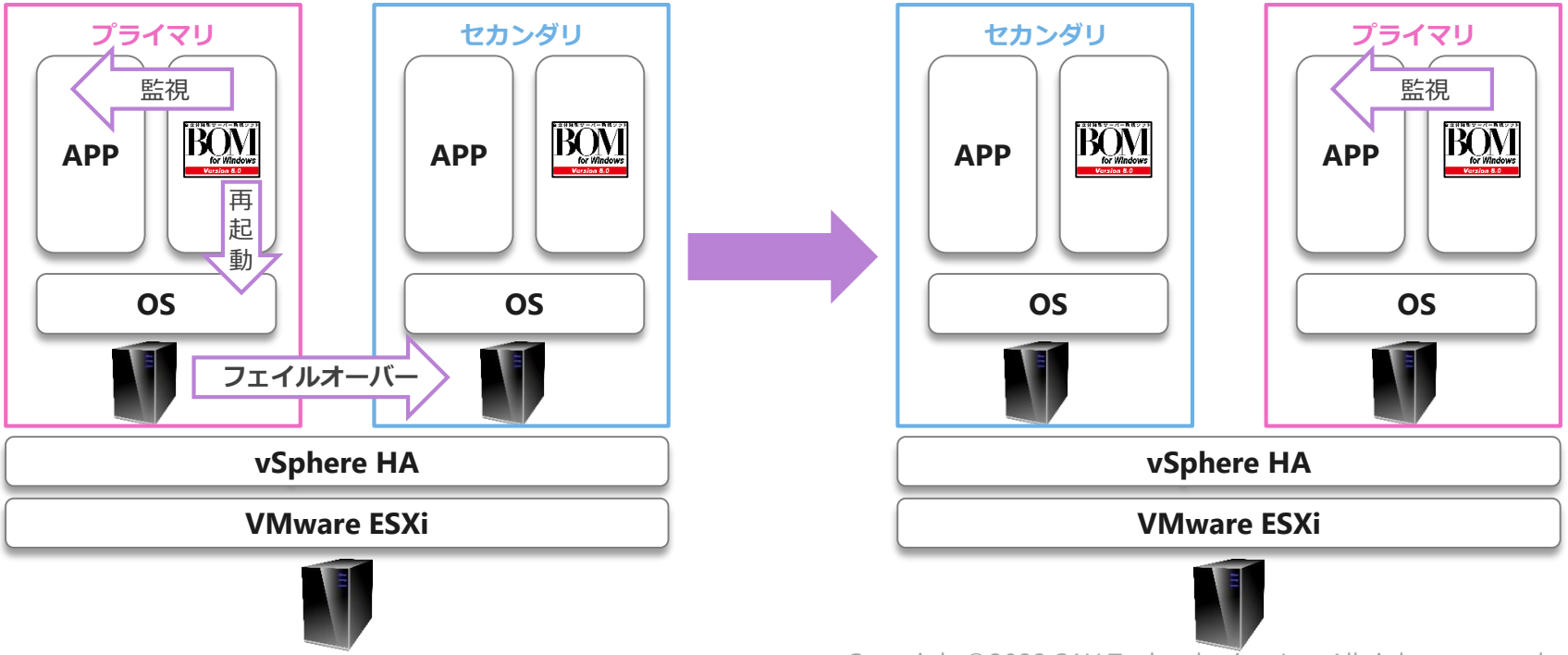


対象指定やログ内のテキスト指定、除外指定もGUIで完結

BOMの活用例 - アプリケーション正常稼働

重要性の高いシステムはクラスター構成で冗長化されているが、アプリケーションの異常が検知できなくとも、正常確認が確認できなければリカバリー対応が必要

構成例：vSphere HAの場合



セイ・テクノロジーズ株式会社

https://www.say-tech.co.jp

お問い合わせ先：東京都文京区水道1丁目12-15 白鳥橋三笠ビル8階
TEL：03-5803-2461　FAX：03-5803-2463
e-mail：sales@say-tech.co.jp